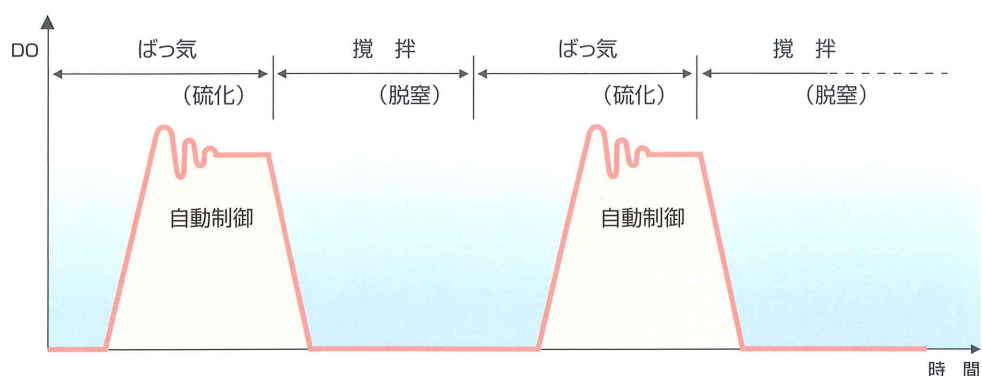


施設の特徴

この処理施設には、(社)地域資源循環技術センターが開発した“JARUS-XIX P1型”が採用されています。処理方式は連続流入間欠ばっ気方式で、汚水を連続流入させ、反応槽(ばっ気槽)で嫌気・好気(攪拌・ばっ気攪拌)を自動制御することで運転処理します。

- BOD(有機物)、SS(浮遊物質)、T-N(窒素)、T-P(リン)も安定した処理で高度な水質が得られます。
- 汚水を連続流入させ、嫌気・好気工程をばっ気槽内で繰り返すことによりT-N(窒素)の高度な除去効率が得られます。
- T-P(リン)は鉄溶液を注入することでより高度な除去効率が得られます。
- 嫌気・好気工程をばっ気槽内で繰り返すことにより、膨化現象(バルキング)が生じ難く、安定した処理性能が得られます。
- 自動制御化により省エネルギー運転が可能です。

■JARUS XIX P1(鉄溶液注入連続流入簡潔ばっ気方式)の運転パターン



事業の概要

排水処理施設	名称	吉部排水処理場		
	所在地	厚狭郡楠町東吉部字川井2949		
	処理対象排水	生活排水(し尿および生活雑排水)		
	計画処理人口	1,200人		
	計画汚水量	日平均汚水量=324m ³		
	計画水質	時間最大汚水量=39.0m ³ /時		
		項目	流水水質	処理水質
		BOD	200mg/l	20mg/l以下
		SS	200mg/l	50mg/l以下
		COD	100mg/l	30mg/l以下
T-N		43mg/l	15mg/l以下	
T-P	5mg/l	1mg/l以下		
処理方式	JARUS-XIX P1型(鉄溶液注入連続流入簡潔ばっ気方式)			
竣工	平成16年1月30日			
総事業費	1,275,000,000円			

管路施設	管径	φ50mm~φ200mm
	延長	L=21,500m
	流下方式	自然流下方式・圧送方式